

平成30年度第10回理事会議事概要

日 時 : 平成31年1月11日(金) 15:15~15:30

場 所 : テレビ会議 (つくば市、日立市、川崎市)

出席者	理事長	沢田 治雄
	理事(企画・総務・森林保険担当)	柳田真一郎
	理事(研究担当)	田中 浩
	理事(育種事業・森林バイオ担当)	川野 康朗
	理事(森林業務担当)	大山誠一郎
	理事(法令遵守担当)	井田 裕之
	監事	鈴木 直子
	監事	平川 泰彦
	総括審議役	吉野 示右
	総括審議役	小山富美男
	総括審議役	大貫 肇
	審議役	合田 和弘
	企画部長	坪山 良夫
	総務部長	永山 正一

1. 開会

(吉野総括審議役)

平成30年度第10回理事会を開催いたします。

本日は報告事項が2件です。順次説明をお願いします。

I-1 平成30年度補正予算及び平成31年度予算概算決定の概要制定について

(柳田理事)

平成31年度予算案については、平成30年12月21日に閣議決定されました。研究・育種関係での運営費交付金が10,058百万円、施設整備費補助金が223百万円となっており、ほぼ要求どおりです。

(大山理事)

平成31年度水源林造成事業予算は25,216百万円で前年度比1.5%増加となっています。これが通常分ですが、それに臨時・特別な措置として3,954百万円が計上されています。これは重要インフラの緊急点検等を踏まえた防災・減災、国土強靱化のための緊急対策に係る分です。最近、甚大な自然災害が多いことから、3年間にわたり緊急に国土の強靱化を図ることについて閣議決定が行われ、それに基づき3年間しつかり防災面の強化を行うことで予算が付いています。当初予算の合計は29,170百万円で前年度比17.4%増加となり、当初予算でこのような伸びを示すのは10数年ぶりになります。平成30年度補正予算として2,097百万円が計上されています。それから、復興特別会計で東日本大震災における復興対策に係る経費として514百万円が計上されています。

非公共予算ですが、幹線林道事業移行円滑化対策交付金として91百万円、幹線林道事業の負担金及び賦課金等の徴収事務費等の必要額が計上されています。また、復興対策分として、放射性物質対処型森林・林業再生総合対策のうち、放射性物質の移動抑制のための筋工の施工等の予算として33百万円、前年度とほぼ同額の予算措置が行われています。

(沢田理事長)

今年度予算及び今年度補正予算に関しても、適切に執行するというところでよろしいですね。

(大山理事)

適切な執行となるよう進捗管理に努めていきたいと思えます。

(吉野総括審議役)

ほかに質問がないようでしたら、これで平成30年度第10回理事会を終了いたします。次回は平成31年2月8日(金)に開催となります。

3. 閉会